６月芒種（二十四節気）の頃

大幼

大分大学教育学部附属幼稚園

令和７年度
園長だより
No４
R7 年６月４日

５月も終わり園庭の草花も春の装いが様変わりをしています。子どもたちの成長目覚ましい春でした。蒔いたヒマワリの種が生き物につつかれないようにどうしたらいいかみんなで考えた年中さん。育てている野菜が倒れないように枝の支柱を探して立てた年長さん。様々な遊びや生活すべてに『経験』が垣間見えます。そしてにんにんのポーズで朝のなかよし集会の様子を見にやってきて「やってみたい！」と自信をつけた年少さん。一人一人の姿を思い出しても「考える」「感じる」「関わる」等の経験が蓄積されている様子がうかがえます。

「芒種」のこの時期は梅雨入りもする時期であり、稲などの穀物の種を蒔くとされる時期ですが、幼稚園の中では、先生や友だちとの関わりや自分が興味を持った遊びに夢中になりながら、毎日たくさんの種が蒔かれていると感じます。そこからぐんぐんとジャックの木のように大きく太い幹が育つことをイメージしながら、いい６月にしたいと思っています。（今日はビワを収穫しました！）

５月 31 日の親子ＰＴＡは多くのご参加ありがとうございました。また、それまでの計画、準備、当日運営など多くの皆様のお力をいただきました。子どもたちには、自分の近くにいる人を含め世の中のたくさんの人との関わりの中で自分たちは生活している、ということを少しずつ感じてもらえたらと思っています。

左：誕生会
下：うみたまご見学

下：親子 PTA

本年度の「読み聞かせ」「ことのは」活動が本日から始まりました。楽しみです。

５月 29 日に４・５月誕生会を実施しました。主役の子どもたちも、それをお祝いする子どもたちもみんな、幸せな時間を過ごすことができました。友だちからの言葉も、お家の人からの言葉も、歌のプレゼントもどれもこれもが心に響いていると感じます。お家の方からの歌のプレゼント「ぽよよん行進曲」の歌詞は「どんな大変なことが起きたって君の足のその下にはとてもとても丈夫なばねがついているんだぜ」と始まります。勇気がモリモリわいてくるその歌は私も子育て中によく聞いた歌でした。20 数年ぶりに聞いてもいい歌です。

年中年長さんは５月 23 日にうみたまごに行ってきました。イルカたちは子どもたちの目の前で尾びれを振ったりジャンプしたりとたくさん楽しませてくれました。只今たくさんの可愛い魚たちがブルーシート海を泳いでいます。子どもの観察眼は鋭く感心させられます。小さいダンゴムシから大きい魚まで、やはり命あるものからの学びは大きく深く温かく、偉大です。